

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	にこここ		
○保護者評価実施期間	2025年11月10日 ～ 2025年12月26日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	19
○従業員評価実施期間	2025年11月10日 ～ 2025年12月26日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供達から出る意見や要望を取り入れ、好きな事、強みを活かした支援内容を考え、やってみたいを出来た！に繋げることを意識した支援を職員全体で取り組んでいる。	好きなことを介して、集団活動や個別活動の内容を考え実際に子供たちからやってみてどうだったかと感想や意見を聞き改善しながら取り組んでいる。また、活動内容によっては個々の段階や支援計画に合わせてグループ分けをして行うなど工夫をしている。	子供たちの意見や要望を全て取り入れることも難しいが、活動計画の段階で一緒に組み立てることが子供たちと出来れば良いと考えている。
2	日々の中で業務改善すべき所や支援内容について皆で話し合い、意見交換することでチームワークを高め、実際の支援でもそのチームワークが活かせるように職員全体で努めている。	個別支援計画を基に支援内容や日々、支援の中で起こった事象について詳細に報告し合い、次の支援時の対応について職員で検討し支援の修正、統一を図っている。このようにPDCAサイクルを一人の職員だけでなく全体で把握し回すよう工夫している。	子供たちの気持ちや想いを無視する形にならないように、日々様子やご家庭や学校での様子等も含め寄り添いながら支援を組んでいくことを今後も職員全体で意識して取り組んでいきたい。
3	敷地内に放課後児童クラブがあり、地域の子供達と関われる環境にあり社会性を一緒に学び、互いに協力し、楽しめるように関わる機会を設けている。	季節行事も含め一緒に活動できる機会を設けています。一緒に活動に参加したり遊びの中で子供たち同士の関わり合いが持てるよう互いの職員全体で協力しながら工夫しています。	児童クラブだけでなく、法人内の介護施設との関わりや地域の方との交流も増やしていければと考えています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)や家族も参加できる研修会や情報提供の機会が少ない。父母の会や保護者会等の開催機会や保護者、きょうだい同士を含む交流を持てる場を提供できていないこと。	ペアレントトレーニングについては外部での研修機会があることから実施していないが、そのことが周知できていないと思っている。また、父母の会や保護者会については以前、平日の昼間に事業所内で保護者同士の交流の機会を設けていたが、コロナ感染症以後開催していない。	来年度、保護者会（父母の会）の内容を見直し開催を考えております。また、家族支援プログラム（ペアレントトレーニング）につきましては、外部研修の機会をごちからから情報提供させていただくことや、実際に支援を参観（見学）していただきお話をさせていただくことも可能であることを分かりやすく周知していきます。
2	部屋数が少ないことや広いスペースが無い為、活動を分けて行う際には、内容に制限がかかることや大きく動きのある室内運動が難しいこと。	大きく体を動かすような活動は全体では難しく、小集団で取り組むことにしているが、全体で取り組みたい時には外で行うが天候に左右されてしまうこともある。特に梅雨時、冬場は活動に偏りがでてしまうこともある。	屋内で体を動かして活動できる場所を探す必要がある。また、現在取り組んでいるにこここ内で体を動かす活動の内容も見直し、新しい活動が増やせるよう工夫していく。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス にここ

公表日 2026年2月5日

利用児童数 19名

回収数 19/19世帯 (100%)

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18		1	・子供に対して、目が行き届く広さである。 ・外や屋内で遊ぶスペースがあり十分だと思う。	今後も、一人ひとりがのびのびと、好きなこと、やりたいことに取り組めるよう環境を整えながら安全に過ごせるスペースの確保に努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16		3	・1人1人サポートの必要度が異なるので、配置数が少ないのか分からない。	5名(児童発達支援管理責任者、保育士2名、児童指導員2名)を配置しています。うち1名、専門的支援実施の為、実務経験5年以上の児童指導員を配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19			・空間ごとに何をするのか分かりやすいように仕切りがあったり、イラストや写真で見えて分かりやすい配置になっていると思います。	視覚的に情報を受け取りやすいように、必要な視覚支援は適当な場所や位置で提示しております。小さな段差や死角部分は必要に応じて整備しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	19			・朝そうじをしてもらったり、換気をしっかりしていたりと心地よく過ごしやすい場所になっていると思います。	安心・安全に過ごして頂くため、毎朝環境整備を行い施設内の点検や机、玩具等の消毒も行っております。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19			・話を十分に聞いてもらっています。その上で子どもに合ったことを苦手な事も含め対応してもらっています。	個々の好きな事、苦手な事を理解した上で職員と日々の活動の中で様子や情報を共有することや、保護者様から聞くお話も踏まえて支援に繋げ「やってみたい」と思える支援内容を模索し提供してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18		1		保護者の方々にいつでもご確認して頂けるよう法人のホームページに掲載しております。(HP「情報の公開」)
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19			・話を十分に聞いてもらったうえで作成されていると思います。	個別支援計画作成にあたり、半年毎のモニタリング時と更新月には面談を行い見直しをしております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19				今後もガイドラインに沿い、具体的な支援内容を設定した計画を作成させていただき、個々に応じた教材の使用や環境設定等を行いながら支援をさせていただきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19			・一日の流れが決まっているので、本人もスムーズに療育を受けることができていると聞いている。	今後も子ども達が理解しやすく、「やってみたい」気持ちを引き出せるような活動を提供できるよう工夫してまいります。
保護者への説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	16		3	・にごチャレやみんなの前で絵本の読み聞かせ、料理等の取組は個々の特性に応じてされていると思う。 ・わんぱくもあるので行き来でき、交流も自然とできていると思います。	同敷地内に放課後児童クラブがあり、一緒に活動したり、季節行事、余暇活動を過ごす機会を作っております。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19				内容のみに限らず、ご不明点等ございましたら、いつでもお声掛けください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19			・内容と確認しながら説明を受けています。	計画の内容をお話をさせていただいた際に、支援内容も同時にお伝えさせていただいております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9		10		家族向けの研修等の機会は設けておりませんが、希望がある方につきましては、実際に参観で支援を見ていただき、その場で支援の内容についてお話をさせていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19			・送迎の時や面談の時等で話を共通理解できていると思います。	送迎の際や、必要に応じて面談等でお話させていただきます。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19			・悩み事等、その時の対応等を一緒に考えてもらっています。	どんなに小さな事でも、「話して良かった」と思っただけの事業所でありたいと考えております。今後も職員共々、自己研鑽してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	12		今年度は開催できておらず大変申し訳ございません。内容の見直しをさせていただき、来年度から定期的に開催を予定しております。決まりましたら、ご案内させていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1	1		ご相談は適宜、適時受け入れをさせていただいておりますので、いつもでお声掛けください。ただ、内容次第ではお時間をいただくこともございますことご理解ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19				情報伝達で必要な内容等は、職員間で共有してお伝えをさせていただいております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18		1		2期に分けて「にこにこだより」の発行、事業所評価アンケートは大樹会のHPに掲載させていただいております。(HP「情報の公開」)
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19				書類等は、鍵付きのキャビネットでの保管、管理、またお出掛け時の持ち物の管理など、個人情報に繋がる物について十分に注意を払っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16		3		マニュアルに関して、利用開始時にお渡ししております「にこにこしおり」、マニュアル更新の際には書面でお渡しさせていただいております。また、安全計画に基づいて、各種研修や訓練を実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15		4	・ちょこちょこ訓練などの体験を入れてもらっています。	建物は、消防設備点検及び自主点検を開所日に毎回行っております。車両につきましても、2名体制で車両点検を日々実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17		2		怪我、事故等があった際には、発生した状況、経過、対処等を必ずご報告し、以後の対応についてもお話をさせていただいております。（緊急性の高い場合は、即時緊急連絡先にご連絡させていただきます。）
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19				保護者様のご協力があり子供たちが安心して、楽しみに通所でできていると思っております。現状に安堵せず、今後も安心して楽しみに通所していただける事業所運営を職員一同、取り組んでまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19			・スタッフの方、学年の違うお友だちと遊べるのが楽しいようです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1		・長期休みの時等での外出で初めて行く場所など色々と連れて行ってもらったり、その時々に対応に満足です。 ・通所できる日を増やして欲しいとは思っています。	事業所の支援内容でご不明な点やご心配などございましたら、遠慮なくお声掛けください。また、支援内容の変更をご希望の場合も更新期間関係なくご相談ください。

【その他ご意見】

- ・長期休み等、色々な所へ連れて行ってくださりありがとうございます。にこにこで行った所に連れて行けたり、子どもの楽しみになっています。日頃の十分すぎる支援、感謝しています。これからもよろしくお願いします。
- ・とても楽しく通わせていただいています。支援内容もよく考えていただきありがたく思っています。
- ・長期休みなど色々な場所に連れて行ってくださり本人も楽しく通っているのが伝わってきます。ありがとうございます。
- ・十分に様々なご支援をいただいていますので、サービス内容を含め満足しております。
- ・受け入れてくださる日がもう一日増やしてもらえたらと常に願っています。（仕事のにも、親の精神的にも）
- ・毎回、通所を楽しみにしています。いつも寄り添ってくださり、ありがとうございます。
- ・自宅では仕事などで忙しくてできないことを教えて下さったり体験させてくださりまた、家と学校の間のような家庭のようなあたたかい雰囲気親子を受け入れて下さり、心身ともに支えていただいています。いつもありがとうございます。
- ・にこにこに行く日はとても喜んでます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス にこここ		2026年 2月 5日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	屋外に自由に過ごせるスペースがあります。	指定基準は満たしておりますが、同敷地内に放課後児童クラブも併設されている関係でトイレの数が少ないことが課題です。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		指定基準に沿って職員を配置してあります。	もう少し、余裕のある職員数でもいいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	個々に合わせた視覚支援や物の配置等も考え、子ども達にとっての使いやすさや片づけやすい状態を工夫しています。	プライベートが確保できるような空間もあっていいかと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	毎日環境整備、清掃をして衛生面も気をつけています。	手洗い場の数がもう少しあっても良いと思うことと、お湯が出るようになればと思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		静養室を作り、静かに過ごしたい児童が使えるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		個々の設定目標に対して職員同士で話し合い、全体で共有できるように取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	保護者からの意向があればその都度、改善に向けて対応しています。	評価内容のみならず、日々の中でも意向をお聞かせいただき、より良くご利用いただける事業所になるようご協力いただければ幸いです。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々の業務内や会議等で職員同士話す機会を持っており、業務内容も共有して協力して行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	現在、第三者評価は行っていません。	第三者評価を行っていないが、職員、保護者、関係機関の声を業務改善につなげていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		事例検討や個人が受けた研修を事業所でアウトプットする研修をし事業所全体で知識や支援の質の向上に取り組んでいます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		都度、支援プログラムの見直しをし、より良い支援を提供できるように取り組んでいます。支援プログラムは大樹会HPに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		日々の支援の記録や保護者と情報共有をしながら、アセスメントやニーズ整理をして計画の作成をしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		児童発達支援管理責任者と職員全体でケース会議や検討会を開き、支援内容のすり合わせを適時行い、子ども達の意見も取り入れた支援の統一を図っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		ケース会議とは別に、月単位で計画の支援内容と児童の様子を振り返り計画に沿って実施できているか確認を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		決まった様式を使用して、日々の子どもの状況、状態、保護者からの情報をもとにアセスメントし確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		5領域を意識し、個々に応じた支援に対して必要な項目をアセスメントから引き出し、設定しています。支援内容は誰が見ても流れや使用教材が分かるように具体性を意識して設定し記載しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		担当者やリーダーを立てて、活動プログラムが偏ったり、固定化されないように意識して立案しています。また、集団、小集団に分けて取り組めるようにその日の児童の目標（計画）に応じて活動を工夫しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個々の状況に応じて、必要な課題を計画作成時に検討し個別、集団に分けて作成し支援を行っています。	

適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		日々、打ち合わせと振り返りを行い支援内容の確認と情報共有し、チームで連携した支援を意識して行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		その日に共有すべき内容は、支援終了後に話そうにしている。概ねは翌日の打ち合わせで行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援終了後、個人記録を作成しています。その中で要検討内容がでてきた場合、翌日の打ち合わせ時に話し合いをし検証、確認、改善を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		計画の見直し時期にはモニタリングをしています。必要に応じて、支援内容の見直しをする場合にもモニタリングを行うようにしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	5		4つの基本活動を意識した支援内容を計画し、活動の中でも特に「こどもが主体的に参画できる」ように意識して支援しています。	地域交流がコロナ禍以降、減ってしまっているので増やしていきたいと考えています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		こども達が自己選択し決定できるような内容の活動や支援内容を提供できるように意識しています。	今後も様々な選択肢を提案、提示できるように努めます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		主には児童発達支援管理責任者が参画している。場合によっては、職員も同席し違った受け取り方になっていないか、内容にズレがないかを確認する意味で参画することもあります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	必要に応じて、連携した支援をと考えています。	項目の医療、一部学校との連携は、現段階では難しい状況であるが、連携が必要な時には積極的に行いたいと考えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	子ども達にとって適切な情報の共有、連携ができるように求めています。	学校との連携は必要最低限行えている状態です。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		就業前の段階で必要な情報の共有、連携ができるようになることで子ども達にとって有益であることを双方が理解して今後も関係を構築していきたいと考えております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		先方からの要望、要請があれば積極的に対応していきたいと考えております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		連携は取っており、必要に応じて情報共有の様子を伺いお話ししていただいています。研修も機会があれば積極的に参加したいと考えています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		同敷地内に放課後児童クラブがあり、交流をしています。ただ、地域学校の児童クラブとの交流はできていません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	市主催の事業所連絡会に参加しています。	舞鶴市内に対象となる自立支援協議会がないと認識しており、設置されれば積極的に参加したいと考えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		職員全員が情報共有の意識を持ち、日々の送迎時や面談の際に伝え合えるようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	家族向け研修や家族支援プログラムの機会の提供はできていません。面談や送迎時に、相談いただいた内容にアドバイスや対応方法などをお話させていただいています。	家族向けの研修等の機会は設けておりませんが、希望があれば支援を参観していただき、説明や支援の共有をさせていただきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		口頭、書面でお伝えしています。また、変更があった場合には更新し書面をお渡します。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		面談時にはもちろん、日々の利用の中や送迎の際に双方からの意向を確認することを意識しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		児童発達支援管理責任者が支援内容を説明の上、保護者から同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		日々、送迎の際や何かあれば、お電話や来所いただいて相談に応じしています。面談が必要な場合は、お時間取っていただきお話をさせていただきます。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4	現在、保護者会の開催ができていません。	内容の見直しをさせていただき、来年度から定期的に開催を考えております。決まりましたら、ご案内させていただきます。

	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		いただいた苦情、相談、申入れ等は迅速に対応し、職員で共有し改善させていただいています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		活動の様子を「にこにこだより」（年2回）発行しています。また、長期休暇には活動内容や持ち物等が分かるようにカレンダー状の予定を配布しています。	
保護者への説明等	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		鍵付きのキャビネット等での管理をするなどし、個人情報に繋がる物について十分に注意を払っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		個々に合わせて、個別対応をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	季節行事の際、地域で活動されているボランティアの方に来ていただいたり、同法人内で数名を招待したりして、色々な人と関われる工夫をしています。	感染症や児童の状態もあり、慎重に行いたく思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各種マニュアルを策定し、委員会も合わせて定期的に研修や訓練等の機会を設けています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを基に必要な訓練を計画、実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時に確認させていただいたり、服薬が開始となった段階で確認をしている。書面残し、職員全体で共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	現在、食物アレルギー対応の方はおられません、必要に応じて対応させていただきます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		年に1度の安全計画を作成し、計画を実施しながら支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		子どもの安全確保に関して、安全計画に基づいて取り組みをし、実施した際にはお伝えしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		小さな事も含め、打ち合わせや支援終了時に職員で共有し、再発に対しての防止策、対応策を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的に研修（内部、外部）、委員会も合わせて虐待について考えたり、話し合う機会を設けています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	現在、身体拘束を承諾いただく事案がありません。必要な状況になった場合、十分に事業所内で熟考、検討の上、組織の同意を得てから、子ども、保護者に説明させていただき承諾を得てから計画に記載します。	

事業所名

放課後等デイサービスにここ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026 年

2

5 日

法人（事業所）理念		一人ひとりの得意な力が発揮できることでトライからチャレンジへ、やってみたい気持ちを引き出し、生きる力へと育みます。								
支援方針		自分らしく生活できるように個性や特性を大切に「個別支援計画」を基に、一人ひとりに合わせた支援内容や社会参加を通して様々な力を身につけ、“たのしい（充実感）””もっと（好奇心）””やった（達成感）”と感じる心の育みを大切にします。								
営業時間		9 時	30 分	から	18 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	うがい・手洗いや検温、心身の状況観察を自ら行い健康管理や清潔保持が身につくよう支援します。 食事、排泄、衣服の着脱、身だしなみ、掃除・整理整頓、マナーなどの基本的な生活スキルを獲得できるよう支援します。 一人ひとりの分かりやすさに配慮した支援方法で提示、掲示します。								
	運動・感覚	公園での遊具や歌に合わせてダンスする等の粗大運動、工作や生活動作での指先を使う微細運動等により、身体コントロールや身体感覚等の成長を育みます。 一人ひとりの身体機能に配慮し、環境整備、調整なども行いながら支援します。								
	認知・行動	生活に汎化できるよう、身近な物、人、場所、環境等におけるルールやマナーを身につけられるよう支援します。 個別課題（にここチャレンジ）では、一人ひとりに特化した課題を提供します。また、学習の取り組みや学習補助の役割として支援します。 待つ時間や余暇時間の過ごし方を一緒に考え、一人ひとりが生活の中に楽しみを見つけられる力が育つよう支援します。								
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的な能力の向上や、一人ひとりに合わせた言語・非言語問わず自分の思いや要求などを伝えたり表現できるよう支援します。また、それに伴う言語の形成と活用、感情の表出やそれに伴った表現方法も支援します。 集団の中でのコミュニケーションスキルを身につけるために、教材やゲームを介して会話や話し合う経験を積めるよう支援します。								
	人間関係 社会性	感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊び、見立て遊びやごっこ遊び等の象徴遊びを通して、社会性を育めるよう支援します。また、一人遊びの状態から並行遊びをし指導員が介入して遊ぶことや役割分担やルールを守って遊ぶ協同遊びを通して社会性の発達を支援します また、気持ちや感情のコントロールができるよう視覚支援や気持ちの伝え方を、いろいろな場面や場所において適切に伝えたり表現できるよう支援します。								
家族支援		ご家族の就労を支援し、ご家族の休息時間を設け、学校と家庭との連携を密に行い、ご家族の子育ての不安や悩みなどを受け止めて前向きに物事が捉えられるよう関わり方などについてアドバイスを行います。また、保護者同士の交流の場を提供します。				移行支援		ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けて準備を行います。移行先（学校・事業所・職場等）との情報の共有を行います。		
地域支援・地域連携		併設の放課後児童クラブ「わんぱくクラブ」、相談支援事業所、行政、同法人内の放課後等デイサービスや高齢者施設、その他関係機関や事業所との連携を図ります。				職員の質の向上		事業所内研修、スキルアップ研修、法定研修（虐待防止・身体拘束・感染症）、防災・安全に関する研修、ケース検討会。 また、外部研修等に参加した職員からの伝達講習や報告によりアウトプットすることで自他共にスキルの向上を図ります。		
主な行事等		長期休暇時の外出や調理、夏祭り、クリスマス会、避難訓練、不審者訓練、公共施設への外出、制作活動、買い物体験、ダンス、サーキットあそび、プール・川遊び 他								

2026年度 安全計画

放課後等デイサービス にこここ

区分 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
避難訓練等			防災訓練 (火災・地震・防災センターでの体験のいずれかを想定) 感染症研修	虐待研修(身体拘束)	不審者訓練	
その他 ※ 1						
区分 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
避難訓練等		虐待研修(身体拘束) 感染症研修	防災訓練 (火災・地震・防災センターでの体験のいずれかを想定)			防災訓練 (火災・地震・防災センターでの体験のいずれかを想定)
その他 ※ 1						

◎避難訓練で災害に対する理解を深め、速やかに避難行動できるようにする。

※ 1 交通ルールが理解できるように配慮しながら散歩等へでかける。